

第2回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成28年4月8日（金）18:00～19:10

会場：南部市民センター なんぴあ

参加人数：28名（南部圏域の介護事業所関係者や医療機関関係者、薬剤師の皆様など）

メインテーマ：「地域包括で認知症を支える」

サブテーマ：「認知症の高齢夫婦への支援を考える」

第1回目のなんケアの会は、会場の関係で1事業所1名と人数制限が必要でした。今回から会場を南部市民センターなんぴあに移しましたので、人数制限なく多数の参加を頂くことができました。

今回は、「認知症の高齢夫婦への支援を考える」がサブテーマでした。地域では、高齢夫婦のみの世帯が年々増加しています。当院病院長の皆河崇志先生と、御野場介護支援センター介護支援専門の高橋由香様に、高齢ご夫婦の二人暮らしで、共に認知症という事例の紹介をしていただきました。少しでも長く夫婦で暮らしていきたいと話すお二人なのですが、認知症だけではなく他にも持病を抱えており、医療・介護・地域で連携し対応してきました。この事例に対し、「ご夫婦で在宅生活を続けていくための支援」についてグループ毎に意見交換を行いました。“地域の見守りや協力の力が大きいので、地域の方の意識向上や見守りのスキルアップも必要。地域の方の研修会や認知症の方と実際に触れ合う機会があれば良いと思う。”“家庭に緊急ボタン（緊急通報システム）を設置したり、交番やよく行くお店などにも情報提供したら良いのではないか。”などと、具体的な意見が多数あがり、活発な意見交換となりました。

次回のなんケアの会は、認知症についての講演会を予定しています。医療福祉関係者のみならず、地域の方々へもご参加いただき、認知症への理解を深める会にしたいと考えています。